

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

26年10月17日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住所 日田市杵町1935-1

氏名 (有)中央牧場 本川一喜
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 中央牧場
事業場の所在地	日田市杵町 1935-1
計画期間	H26年4月1日 ~ H27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	酪農 01 農業
②事業の規模	経産牛87、初妊牛9、育成15
③従業員数	2名、パート2名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	牛舎の糞尿 → 風乾施設で発酵 → 処理後の発酵糞 → 1/2を牛舎の敷料(リサイクル) 1/2を堆肥倉へ(自作地へ利用)



(日本工業規格 A列4番)収



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

牧場主(本川一喜)

年間を通じて、腐し堆肥として敷料利用、飼料畑で利用しているが、牧場外へ販売することはほとんどない。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(25 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	牛死体2頭
	排出量	2122 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 1/2もどし堆肥で敷料利用 1/2も飼料畑で利用・米里宮農の水田で利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞尿	死体2頭
	排出量	2122 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化(ぼかしを利用)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2/22 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2/22 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	2/22 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	106/ t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	2/22 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	106/ t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			